

政治の面白さ、怖さ

朝日新聞政治部編集委員

曾我

豪

- * 権力者の頭の中を覗く仕事
- * 解散に慎重だった安倍首相
- * 本当の驕りは憲法改正発言
- * 解散は自作自演だった
- * 大連立という選択肢
- * 希望という名の熱病
- * 政治家としての未熟さを露呈
- * 政権打倒が反対の結果に
- * サブリーダー育成の重要性
- * 選挙後に残る課題



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今回、2〜3カ月前にお願いをしましたが、非常にタイミングがよく、適切な時期にお呼びすることができました。曾我さんは2回目でございますが、政局内部のことをきちんと踏まえお話しただける最高の人選であると考えております。解散総選挙が近いわけで、皆さんもいろいろ判断に迷うところがあるかもしれませんが、今日はそれぞれの勢力の動きやその後の展開についてじっくりお話しただけだと思います。それではよろしくお願いいたします。（拍手）

権力者の頭の中を覗く仕事

曾我 こんにちは。朝日新聞の編集委員とい

うか、普通に政治記者をずっとやってきた曾我と申します。今日はよろしくお話しいたします。非常にタイミングがいい時期と司会の方からおっしゃっていただきましたけれども、話す側とすると極めてタイミングの悪い、何を言っても後であいつは外れたではないかと言われるような日であります。（笑）しかし、まだ告示前で選挙期間中でもありませんので、ともかくオフレコのお話もなるべくしたいと思っています。まずは私なりの政局の見立てからお話をしたいと思います。

私はいつもこのビルの前は通っておりますけれども、実は呼ばれてお話しするのは今日が2回目です。ちょうど去年の今頃に呼んでいた、講演にはいろいろ行きますけれども、